

飼料増産にお役立て下さい！！

「なるほどよくわかる！飼料生産と利用」を作成 (関東・甲信地方版)

今般、関東甲信地方に適した優良な飼料作物品種について解説した「なるほどよくわかる！飼料生産と利用」を作成しました。

本冊子が有効に活用され、自給飼料生産の拡大を通じて畜産農家の皆様の安定経営に少しでも役立てていただければ幸いです。

(主な内容)

- ・草種ごとの特徴、栽培と利用について、わかりやすく解説。
- ・優良品種の紹介。 など

(表紙)

なるほどよくわかる！ 飼料生産と利用

(関東・甲信地方版)



平成21年3月

家畜改良センター長野牧場編集

(内容の一部)

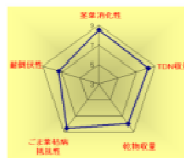
とうもろこし優良品種

高茎葉消化性品種「タカネスター」

1. 品種の特徴

高茎葉消化性でホールクロップのTDN含量が高い

2. 特性



3. 栽培適地
関東東山全域、
長野品種採種県：長野、山梨

4. 栽培のポイント

RM113の春播き用早生品種です。目標生収量 6.5～8t/10a

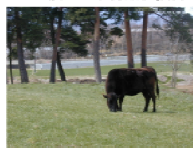
最適播種密度は6500～7500本/10a程度。

やや早めに枯れ上がりますが、黄熟期収穫に心がけます。

ペレニアルライグラス利用のすすめ技術

栄養価・収量性が高いことを利用して

・小面積での集約放牧技術



ポイント
・短期輪換放牧により、草地利用効率が向上します。

・放牧地の面積が少ない、本州の放牧に適します。

・放牧搾乳技術



ポイント
・短草利用すれば、栄養面が高いため、搾乳率にも利用できます。

・濃厚飼料が低減できるため、飼料費削減が可能です。

平成17年度畜産草地整備情報 畜産草地研究所-放牧管理課
集約放牧の導入により、草地面積10a/頭/年程度の時間制放牧でも平均的乳量水準の乳牛群であれば、購入飼料から供給される蛋白質量を2割程度削減できます。

- ・家畜改良センター長野牧場のホームページからもご覧頂けます。
- ・詳しくは下記問い合わせ先までご連絡下さい。

～ 日本の畜産 改良と技術で育てます ～

(問い合わせ先)

独立行政法人 家畜改良センター茨城牧場長野支場

電話 0267-67-2501 (担当：種苗業務課)

ホームページ <http://www.nlbc.go.jp/nagano/>